

わたなべ 栄一

新聞・かわら版

Vol.6



えいいち
わたなべ 栄一

無所属 62歳
糸魚川市議会議員（1期）
・建設産業常任委員会 委員

わたなべ栄一の活動報告 ～活力あるまちづくりに向けて～

糸魚川市の総人口
R4.11月1日現在 39,887人
（－206人 / R4年8月より減、
前年同月より－794人減）

街おこしは待ったなし！ しがらみのない わたなべ栄一

R4.8月29日（月）～R4.9月22日（木）の日程で第5回市議会定例会が開催されました。
行政当局に質した一般質問の一部をご報告いたします。

■高校魅力化コーディネーターに任用された地域おこし協力隊員は、学問のススメ！？

当コーディネーターは、総務省の外部人材活用制度の一つである「地域おこし協力隊」制度を活用し、7月に2人目（※10月には3人目）が任用されました。市内にある3高校は、市立ではなく、県立の学校にコーディネーターとして就くことに違和感を持ちましたが、課題にフォーカスし、考えをまとめるなどの総合探究学習の授業に生徒と関わり、また、自習室の管理運営では高校と連携し、勉強の進め方や進路選択に向けた支援を行なうなどして魅力化を進め、入学志願者を増やしたい旨の回答が教育長よりありました。担当課長からは、

子ども一貫教育の方針にもあるように当市の魅力を知り、それが将来糸魚川市にメリットをもたらすことが期待できるため、進めていると回答、ただ3校の志願者が減っている理由は、そもそも当市の人口が減り過ぎて、40代の働き盛りの方々が地元になくなっていく表われだと考えます。新たな時代を生き抜くためには、今までの勉強だけでなく、様々な力を身に付ける必要があります。地域と関わるという今までにない体験が高校生にとって意義あるものとなり、自身の将来を見据えた進路選択で未来を切り開いて行ってほしいと願います。

■当市のにぎわいの拠点施設「駅北子育て支援施設」計画は、費用に見合う効果を生むか？

当支援施設について、それぞれ各地区での懇談（3巡目）等が8月末で終了しました。そのわずか2箇月後には、当市の人口は4万人を割ってしまい、出生数も令和3年度では165人となっています。これらの客観的データに鑑みて、果たして費用対効果の分析ができていないのか、財政的にも限られた予算を「ハコモノ建設」より他の既存施設や空き店舗等で改修・再利用を図り、相談機能の充実などに充てる方がよいのではないかと質したところ、市長から

は空き施設を有効活用することは一番大切な事ではあるが、適した場所で適した施設を考えながら進めたい旨の回答で、かみ合いませんでした。また、2階に設けたい屋内遊戯場についても対象年齢の子どもが、市内人口の0.8%程度に留まることから、根拠となるものがあまりにも乏しいため、今は無理して建設を急ぐ必要性は低いと考えられ、今後の負担も心配となります。この件については、引き続き、皆様のご意見を賜りますようお願いいたします。

■柵口温泉権現荘の指定管理の運営について

指定管理者制度は、公の施設の管理に民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上や収益を図ることを目的としており、当施設が黒字化にならない理由について市長は、新型コロナの影響や固定費が下がりにくいことを挙げていましたが、指定管理が始まった平成29年度以降、一度も黒字

化が実現できず、多額の先行投資（約4億円）までして利益が出せないのは、他に理由があるのではないかと考えられます。資本主義経済の原則からは利益の出せないものは淘汰されていくので、より多くのお客様に喜んでご利用していただける施設となるよう「カイゼン」していくことを強く求めます。

■その他の質問

1. 8月4日、当市 HP に「新潟県が作成する積算関係図書の取り扱いにおける協定違反について」と題し、掲載があったが、まだどこに問題があるのか？
 2. 肥料価格高騰で農業経営への影響緩和の為、国の施策以外に当市の支援策の考えはあるか？
 3. 食料品の値上がりで、公立小・中学校の給食費はどうなっているのか、保護者負担を据置いた上で、対策が必要では？
1. 昨年来、市の信用は大きく損なったが、職員一丸となって信頼回復に向け努力してきていると市長の答弁。また、再発防止策の営繕積算システム（RIBC2）は、システムとしては問題はないのかも知れませんが、操作・管理はヒトなので過信は禁物であることが担当課長との質疑から感じ取れました。
2. 市も国の支援策と併せ、本定例会に補正予算を計上（1,270万円）して
- おり、国に準じた方針で取り組んで行くと市長および担当課長より回答があり、一定の評価はしたいと思います。
3. 市長および担当課長より、6月補正予算で対応しており、今後の物価変動の情勢を見中で、必要に応じて対応する旨の回答があり、意に沿った形となりました。

Hayakawa トピックス ～駅伝スポーツ大会&県道・市道完成&火の用心～

■10月16日(日) 秋晴れの中、第45回早川縦断駅伝大会(主催:下早川・上早川地区公民館)が開催され、7月の夜空を飾った早川大花火大会同様、3年ぶりのスポーツ大イベント大会となりました。14チーム98名の選手が出場し、1区～7区(下早川公民館前を発着して糸魚川東中学校前～湯之川内間を往復)までの23.4kmを駿馬のごとく擽をつないで、「がんばれー!!」の声援が鳴り響く沿道を見事に駆け抜けました。この日はやや気温が高めとなり、各選手のベストタイム更新が難しかったのではないかと思います。大会の約1ヶ月前、農道で練習中の某組合長さんにばったり遭遇。「渡辺さんもうですか?」と



■10月22日(土) 午前10時より、上早川地区・湯川内生活改善センターにおいて、「県道湯之河内梶屋敷停車場線・市道笹倉温泉線の完成を祝う会」がありました。平成15年度に県単道路改築事業採択から本年度の改良・舗装工事をもって事業が完了しました。県道で神事が厳かに執り行われた後、テープカット

■10月30日(日) 秋の火災予防運動前の先陣を切って、中山間地域火災想定訓練が地元早川・高谷根地区でありました。住民の関心は高く、実践さながらの雰囲気映りました。自宅に消火器があっても使用したことがない為、取り扱いがよく分かりませんでした。消防職員の軽快なトークにより、私にもよく理解できま

言われ、「サポートの方で」と答えると、「出ることに価値があり、タイムを競う訳ではない」というような趣旨の発言があり、さすがに一目を置かれている方は高い次元のご意見をお持ちだと感心しました。当大会では立哨係りを担当し、1区中継所(ゴール)付近で力走する選手を交通安全面でサポート、見ず知らずのドライバーさんに車を止めて頂くなど貴重なふれあいを体験し、チーム選手の皆さんも怪我なく無事に終了しました。



があり完成をお祝いしました。同実行委員長の樋口 善栄氏(湯之川内自治会長)の式辞では、「夜中に危険な雪下ろしをしなくて済むようになった」というように冬期間の安全安心や幅員が広がったことで交通の利便性が格段に向上し、観光にも寄与するものと推察いたします。19年前というと帰省はしていたものの、事業そのものを全く知りませんでした。今回は不思議な巡り合わせというものを強く感じた次第です。ご尽力いただいた地域住民の皆様や関係者の皆様に感謝いたします。本当に良かったと思います。

した。10トンもの水を積んで放水できる消防車(糸魚川水槽車)は、長さ9メートルを超える大きさで、かなりの坂道を上がることができる優れモノです。4月に能生・高倉地区でも同様の訓練があり、同じ車両が来ていました。季節がら暖房器具を取り扱うことから、火の元には充分気をつけたいですね。

放山、山頂の景色は?

■11月5日(土)と翌6日とで、火打シャルマン友の会(会長 丸山 隆志氏)の皆様と放山(はなれやま:標高 1,189m)の遊歩道の整備作業に参加しました。当日、朝方は日が差していましたが、予報通り途中から雨が降り出し、草刈機を持ちながら、休憩を挟んで約2時間半位で山頂にたどり着きました。お昼頃には、雨も上がってきましたが、霧がかかって何も見ることができませんでした。本来なら、焼山や火打山が間近に見えたのにと残念でした。帰りは、木の杖が非常に役に立ちました。翌日は、皮肉にも朝から快晴となり、来年また頑張ろうと決意を新たにしました。遊歩道整備は毎年行っており、きれいに整備された状態でした。放山は、ブナの林の中を歩くコースで気分が良く、足を運んでもらいたい山の一つです。



➤ 話題: 地元・企業・起業・農業

実りの秋も一息ついて、市内の田んぼで取れた新米は食べると美味しいですね。能生・柵口地区の田んぼで、昔ながらの方法と創意工夫でお米づくりをされている兼業農家(戸田 一也氏)さんがいます。春先には米ぬか・鶏ふんなどの有機肥料を使い、田植えは苗と苗との間隔をあけることで株が大きく育ち、苗数そのものを減らすメリットがあるとのこと。特に驚かされるのは、稲を刈った後、はさ掛けをして天然乾燥させていることです。毎年かなりの労力が必要で、昨今の「スマート農業」とは真逆の、何となく昭和の時代を思い描きますが、リピーターからの「美味しい」という声が、揺れ動く戸田氏の背中を押し続けています。



秋も深まり、日が暮れてしまうのがめっきりと早くなってきました。今年もコロナが収束できずに終わろうとしています。インフルエンザとの同時流行も懸念されていますが、従来の予防策を根気強く続けていく以外にないと考えます。そんな中、イベント大会が復活・再開したことは明るい話題となりました。今月上旬に小滝生産森林組合(組合長 中村 覚氏)のツリーハウス、原木なめこを拝見させて頂きました。ブナの木が生い茂る林の中で、支えられた小屋は4メートルを超える高さがあり、アウトドア感覚で初夏からの集客需要が見込めるビジネスに繋げてほしいと思います。今冬は寒さが厳しいとの予報が出ており、特に高齢者世帯様には、お気を付けください。市政に関して皆様の日頃お感じになった疑問やご意見をお寄せください。ご負担を強いることはなく、匿名でも構いません。どうぞよろしくお願いいたします。



■議員報酬: わたなべ栄一のケース

	支給額	所得税	親睦会*	委員会積立	控除総額	差引支給額	日数	日当*	車賃	費用弁償計	総支給額計
22.1月~7月_報酬	2,660,625	547,619	3,500	35,000	586,119	2,074,506	33	46,200	11,550	57,750	2,132,256
22.8 報酬_8/19	300,000	53,700	500	5,000	59,200	240,800	2	4,100	700	4,800	245,600
22.9 報酬_9/21	300,000	53,700	7,000	5,000	65,700	234,300	2	2,800	700	3,500	237,800
22.10 報酬_10/21	300,000	53,700	500	5,000	59,200	240,800	10	14,000	3,500	17,500	258,300
合 計	3,560,625	708,719	11,500	50,000	770,219	2,790,406	47	67,100	16,450	83,550	2,873,956

※日当は¥1,400円/市内1日、車賃は¥350円/1日です。
※8月 日当内訳: 7/20、大町市へ 日当 ¥2,700円/県外1日

※9月 親睦会内訳: 7/20、糸魚川・大町二市議会議員連絡協議会負担金 6,500円

■第6回市議会定例会は、11/28(月)~12/15(木)の18日間の予定です。

あなたの声を わたなべ栄一へ

■市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せください。

住所: 〒941-0026 糸魚川市大字田屋 634 番地
TEL/FAX: 025-555-3697(サロウクナン) 携帯: 090-9836-5234



E-mail: w.watanabe3697@outlook.jp
E-mail: w.watanabe3697@gmail.com